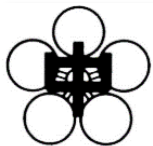


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和元年度 第 8号
令和元年 7月 20日
校長 水谷 智子

ひと夏の成長を ～一学期終業式式辞より～

(前略)一学期の間、私は皆さんの頑張っている姿をたくさん見せていただきました。授業や部活動に一生懸命取り組んでいる姿、集会などで真剣に話を聞く姿、大きな声で挨拶をする姿など、「加賀中学生すごいな！頑張ってるな！」と感じる場面がたくさんありました。

1年生の皆さんは、4月に加賀中に入学してから4か月、加賀中での生活にも慣れてきました。5月に行った富士見高原移動教室では、いのちの尊さにふれ、見通しを持って行動することや心は形で表すことを実践し、友達の良いところを沢山見つけることができました。

2年生の皆さんは、中堅学年になり、自主的に動く場面が増えました。6月の職場体験学習では、学校を離れて様々な体験を行い、いろいろなことに気づき、「社会人として生活する」という視点をもつことができました。事後の発表はとても素晴らしく、皆さんの心の成長を感じることができました。

3年生の皆さんは、落ち着いてかつ活気ある加賀中学校の最上級生として、学校全体を良くリードしてくれています。修学旅行でも皆さんの行動はともしっかりしていて、実行委員会を中心に「修学旅行を成功させよう」と学年全体が良くまとまり、とても頼もしかったです。夏の総合体育大会でも、最後まで全力を尽くしている姿がとてもかっこよかったです。この経験は、きっと今後の人生の糧になることでしょう。

学校全体の生徒会や委員会の活動も充実してきて、自主自律、自主創造を実現しようとみんなで頑張っている様子は、とても素晴らしいです。入学式の時にお話した仲間とともに学ぶ際の3つのC、「Communication(コミュニケーション:伝え合い)、Collaboration(コラボレーション:協働)、Confidence(コンフィデンス:信頼)」を大切にして、これからも加賀中学生であることに自信と誇りをもって頑張してほしいと思います。

さて、明日から夏休みです。毎年、夏休みがやってきますが、今年の夏は今年だけです。1年生の皆さんにとって、中1の夏休みは今年だけ、2年生の皆さんにとって、中2の夏は今年だけ、3年生の皆さんにとって、中3の夏休みは今年だけです。その学年その学年でしかできない夏休みの過ごし方、その学年ならではの夏休みの過ごし方を意識してほしいと思います。

1年生の皆さんにとっては、中学校生活初めての夏休みです。「鍛える」夏休みにしましょう。中学校では、小学校時代に比べて、学習面でも体力面でも一段とハードになりました。勉強の量も増え、部活動で体を動かす時間も増えました。体力的に「きつい」と思うこともあったでしょう。でも、この夏休みを乗り切れば、体力もつき、心も体も中学生らしく、逞しさが増してきます。中学生らしい時間の使い方を意識して、友達と声を掛け合って、しっかりと自分自身を鍛えましょう。そうすれば夏休み明けに、本物の中学生らしい顔つきになっているはずですよ。

2年生の皆さんにとっては、色々なことに挑戦できる夏休みです。「広げる」夏休みにしましょう。興味や関心を広げ、視野を広げ、世界を広げてください。広島・長崎平和の旅、マレーシア海外派遣などに学校を代表して参加する人もいます。上級学校訪問の課題も出ています。部活動も自分たちの代になります。これからは、今までよりももっともっと活躍する場面が広がります。是非、このチャンスを生かしてチャレンジし、一回り大きく逞しくなってください。

3年生の皆さんにとっては、進路選択に向けて準備をする夏休みです。「負けない」夏休みにしましょう。「この夏はとことん勉強するぞ！」と思っていても、その気持ちを貫いて実行することは並大抵のことではありません。暑さに負けない、誘惑に負けない、不安に負けない、自分を律して、己に克つ夏休みにしましょう。皆さんならきっとできます。今まで一緒に頑張ってきた仲間との時間を思い出し、自分の力を信じて、努力を続けましょう。継続は力なりです。

どの学年の人も、夏休みが終わったとき、「今年の夏はこれを頑張った」と言える時間の過ごし方をしてください。しかし、どういう過ごし方をするにせよ、一番大事なことは、「いのちを大切にする」ということです。困ったことや心配なことがあったら、誰かに相談し、健康に気をつけ、事故なく充実した夏休みにしましょう。9月2日に皆さんの元気な顔に会えることを願っています。

◎板橋区コミュニティ・スクール (iCS) に向けて



板橋区コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会（本区ではコミュニティ・スクール委員会）」と「学校支援地域本部」が両輪・協働の関係で運営し、保護者や地域の皆様の力をこれまで以上に活かし、未来を担う子どもたちのために教育活動を支援する仕組みです。板橋区では、来年度から全校が“iCS”になります。

コミュニティ・スクール委員会では、保護者や地域の方が当事者意識を持って熟慮と議論を重ね、学校や地域の課題や目標を共有して、学校運営に参画します。また、それを受け、学校支援地域本部が地域のひとと連携・協働し、地域人材を活用して教育活動の充実を図っていきます。



本校では、“子どもたちに豊かな学びを”をスローガンに、学校支援地域本部の活動も定着してきています。今月もコミュニティ・スクール関連の取り組みがありましたので紹介します。

★第2回コミュニティ・スクール推進委員会

7月16日（火）にコミュニティ・スクール推進委員会を行いました。今回の熟議のテーマは「小中一貫教育について」でした。学年の呼称や入学前のプレテストについて、推進委員の皆様からご意見を伺いました。皆様からは、カリキュラム等の系統性が理解されないと7年生という呼称には違和感があるのでは？ 小学校6年生が最高学年でなくなるのか？ 義務教育学校でないやりづらいのでは？などのご意見も出されました。また、プレテストの実施時期や内容、実施する場合の留意点、合同部活動や乗り入れ授業についての提案もありました。この熟議を基に、白梅学びのエリアの小中一貫教育についてさらに検討していきます。



★学校支援地域本部の図書館整備活動



7月16日（火）の午前中に、学校支援地域本部の図書ボランティアの方々が図書館整備をしてくださりました。今回の活動は古い本の廃棄処分が中心です。図書室入口や窓の紫陽花などのディスプレイもボランティアさんの手によるものです。話題の本も見やすく展示し、思わず手に取って読みたくなるように工夫してくださっています。



★学校支援地域本部コーディネーター合同会議

7月16日（火）のコミュニティ・スクール推進委員会の後、金沢小学校・加賀小学校・加賀中学校の学校支援地域本部コーディネーター合同会議を行いました。3校のコーディネーターが一度に会するのは初めてでしたが、同じ地域の中でどんな活動しているのか、どんな地域人材を活用しているのかなどについて、情報交換を行いました。本校からは、1月に計画しているキャリアデザイン講座の講師についてもご相談させていただきました。

今後、学びのエリア全体で実施する教育活動もありますので、定期的に合同会議を持ち、地域の教育力を活かしていきたいと思っております。



★困った時の相談窓口について、プリントを配布して紹介しています。加賀中学校のホームページにも載せておきますので、ご活用ください。

★8月13（火）・14（水）・15（木）の3日間は学校完全閉庁日です。日直もおらず、部活動や施設開放もありません。何か緊急の用件がございましたら、板橋区教育委員会事務局教育総務課宛にご連絡ください。（☎：3579-2603）

